

第35回雪と遊ぼう：親と子の療育キャンプ 参加者募集!!

令和6年(2024年)1月6日(土)～8日(月祝) 2泊3日
八海山麓スキー場



要 項

【目的】雪遊びの機会がなかなかもてない肢体不自由児が、雪山の中で自然の豊かさを学び、集団生活を通して交流を深める。
親同士も同時にスキー等を楽しみ、専門家の指導のもと、児童の療育について学ぶ機会とする。

【期日】令和6年(2024年)1月6日(土)～8日(月祝) 2泊3日

【場所】八海山麓スキー場(新潟県南魚沼市)

【移動・交通】往復とも新幹線利用(JR東京駅 集合・解散)

【参加対象】肢体不自由児(小学生)18名程度
保護者 18名程度<親子で1組>
キャンプボランティア・スタッフ48名
計84名

【参加費】参加児童・保護者 72,000円<親子1組>
(2泊3日の宿泊食費、交通費の実費、抗原抗体検査費)

【主催】 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会
社会福祉法人 NHK厚生文化事業団
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団



<集合・解散について>

集合 1/6(土) 8:30 予定 JR東京駅
解散 1/8(月祝) 17:30 予定 JR東京駅

<全体打ち合わせ会>

12月3日(日) 13:00～16:00、
心身障害児総合医療療育センター
(板橋区小茂根1-1-10)にて行います。
医師による健康相談、担当ボランティアとの準備についての打ち合わせを予定しています。
今から予定に入れておいてください。

<療育キャンプ活動実施について>

○今回は新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるための宿泊スペースに合わせたグループ定員数の縮小等、例年より組織を縮小して開催します。また、参加に際しては参加者全員に抗原抗体検査を実施し、安心・安全なキャンプを目指します。
○新型コロナウイルス感染症の拡大による政府からの宣言・要請の発令、または社会的状況を見ながら検討し、最終的には開催中止も視野に入れて判断します。

申し込み手続き

<申し込み方法>

受付開始 令和5年 9月20日(水)
締め切り 令和5年10月20日(金) 必着

- 下記HPより申し込みできます。
10/20までにお申し込みください。
- 右のQRコードでもアクセス可能です。



<参加者の選考>

応募者多数の場合は、定員、男女比等により参加者の選考をさせていただきます。
また、キャンプ中、常時、医療ケアを必要とする方(例:気管切開、経管栄養、胃ろうなど)は、参加をお断りする場合があります。

参加決定につきましては、文書により11月初旬までにご通知申し上げます。

<参加費の納入>

参加決定通知とともに参加費納入先、納入期日等をお知らせいたしますので、参加費をお振り込みください。

<参加の取り消し>

事情により参加を取り消す場合は、下記の規定に基づき取消料を申し受けます。

※キャンセル規定

キャンプ前日まで・・・参加費の30%
キャンプ当日・・・参加費の50%

※ご不明な点につきましては、日本肢体不自由児協会までお問い合わせください。

申し込み問い合わせ先 日本肢体不自由児協会 中央療育相談所 ※月～金 9:00～17:00 (土日祝休み)

〒173-0037 板橋区小茂根1-1-7 Tel.03-5995-4514 Fax03-5995-4515

<https://www.nishikyo.or.jp/care/camp-snow.html>

e-mail: soudan@nishikyo.or.jp

保護者の皆様へ

お子様の身体に障害があっても、“他の子と同じように、いろいろな遊び、スポーツ、学習を体験してもらいたい”、親としてごくあたりまえの、自然な「我が子の成長」の願いがあります。

日本肢体不自由児協会、NHK厚生文化事業団、毎日新聞東京社会事業団、は、それぞれの団体の特色をいかして、この願いを実現すべく「雪と遊ぼう：親と子の療育キャンプ」を企画しました。令和6年初春、お子さんと雪山、スキー、ソリ滑りの体験をしてみませんか。

<雪遊びのできることは？>

☆児童のプログラム

雪合戦・ソリ滑り・

雪上キャンプファイヤー など

☆保護者のプログラム

スキー教室・療育セミナーなど

☆親子でのプログラム

雪上大運動会 など



<キャンプ生活は？>

- ・キャンプ期間中は、お子様と保護者の方の宿舎は別となり、プログラム活動も基本的に別となります
- ・お子様の移動・食事・入浴等の生活面、雪上プログラム等のお手伝いは、研修を重ねたキャンプボランティアが担当します
- ・必要に応じて家庭訪問をさせていただきます場合があります
- ・キャンプには健康管理のため医療スタッフも同行します

参加者の声♪ ～ WHC 思い出文集より抜粋 ～



私が冬キャンで思い出に残ったことは、山頂からすべったことと、雪上プログラムです。

山頂からすべった時は、速さがでていてスリル満ちて、風が気持ち良くて、とても楽しかったです。

雪上プログラムでは、雪だるまを何だん積みあげられるかをグループ対抗でしました。私のグループは順ちょうでした。見た目も良くできました。そして題名は「浦佐のしゃとう」です。むかえた結果発表結果は…1位でした。とてもうれしかったです。

参加児童：小5 女児

息子は生まれて初めての雪山体験！

それも最初の数回は固まっていたのですが、すぐに笑顔になり、滑り終わると 拍手で『もう1回』をアピールしていました。

1泊目、睡眠1時間でももりもり食べ、遊び、ひと回りもふた回りも大きくなった(体重も) 気がします。

母も久しぶりの雪景色に心洗われ、大いに笑って食べてリフレッシュ。心新たに新年をスタートすることができました。

これも、スタッフやリーダーさん、関わってくださった皆さんの入念な準備と支えがあったのことで、深く感謝申し上げます。

参加保護者



